

## 日本史(16) 天平文化①「天平文化と大陸／国史編纂と『万葉集』」

○今回のポイント

天平文化は高度な貴族文化。最盛期の唐の影響を受け、国際色豊か！！

### 【天平文化と大陸】

○天平文化の特徴

- ・平城京を中心とした高度な[1. 貴族文化]。聖武天皇の時代の代表的年号「天平」から天平文化
- ・遣唐使の影響などもあり、最盛期の唐文化の影響を強く受けた[2. 国際色豊かな文化]。

### 【国史編纂と『万葉集』】

(1)国史編纂

○律令国家の確立にともない国家意識が高まる。

- ・政府の立場から統治の由来や国家の形成や発展の経過を示すために、中国にならって国史編纂。

(2)古事記と日本書紀

①[3. 古事記] (712年成立)

- ・宮廷に伝わる「帝紀」、「旧辞」をもとに天武天皇が[4. 稗田阿礼]によみならわせた内容を、[5. 太安万侶](安麻呂)が筆録したもの。
- ・神話、伝承から推古天皇に至るまでの物語
- ・日本語を[6. 漢字の音・訓]を用いて表記
- ・創世の神々と国生みをはじめとして、天孫降臨、神武天皇の「東征」、日本武尊の地方制圧などの物語が律令国家の立場から編まれており、そのまま史実とは言えない。

②[7. 日本書紀] (720年成立)

- ・[8. 舎人親王]が中心となって編纂
- ・中国の歴史書の体裁にならない漢文の[9. 編年体]で書かれている。
- ・神話、伝承や「帝紀」「旧辞」などを含めて、神代から[10. 持統天皇]にまでを天皇中心に記す。
  - ・中国の古典や編纂時点の法令によって文章を作成した部分もあるので注意
  - ・「六国史」6つの漢文正史

編年体とは！？

起こった出来事を年代順に記す方法

	六国史	成立年代	天皇	叙述対象	編者
	日本書紀	720	元正	神代～持統	舎人親王
11.	続日本紀	797	桓武	文武～桓武	藤原継縄
12.	日本後紀	840	仁明	桓武～淳和	藤原緒嗣
13.	続日本後紀	869	清和	仁明一代	藤原良房
14.	日本文徳天皇実録	879	陽成	文徳一代	藤原基経
15.	日本三代実録	901	醍醐	清和・陽成・光孝	藤原時平

(3)[16. 風土記] (713)

○各地の郷土の産物・山川原野の名の由来・古老の伝承などを記した地誌。713年に[17. 元明天皇]より諸国に編纂が命じられた。現存しているのは常陸・出雲・播磨・豊後・肥前の5か国。

特に『18. 出雲風土記』は完全な形で残っている。

#### (4)文学

##### ①『19. 懐風藻』

##### ②8世紀半ばからの漢詩文の文人

・[20. 淡海三船]…大友皇子の曾孫。漢詩文に優れ大学頭・文章博士。神武～光仁諸天皇の漢風諡号を定めた。鑑真の伝記『唐大和上東征伝』を記す。

・[21. 石上宅嗣]…文人で大納言に進んだ。最初の公開図書館である[22. 芸亭]を開いた。

##### ③[23. 万葉集]

・編者は[24. 大伴家持]と言われるが未詳。

・759年までの歌約4500首を収録した歌集。

・宮廷の歌人や貴族だけでなく東国の民衆たちがよんだ東歌や防人歌などもある。

・心情を率直に表しており、心に強く訴える歌が多く見られる。

▶第1期：天智天皇まで

□[25. 有間皇子]…孝徳天皇の皇子。孝徳の死後、中大兄皇子と不和になり絞首される。

□[26. 額田王]…白鳳時代の女流歌人。初め大海人皇子の寵愛を受けたが、天智天皇に召された。

▶第2期：平城遷都まで

□[27. 柿本人麻呂]



柿本人麻呂像 人麻呂は万葉第2期から第3期にかけて秀歌を残し、万葉歌人中の第一人者とされるが、詳細な経歴は不明。「万葉集」には、人麻呂作の長歌・短歌と「柿本人麿歌集」からとられた歌が多数収録されている。画像は佐竹本「三十六歌仙絵」のもの。出光美術館蔵

▶第3期：天平年間のはじめ

□[28. 山上憶良]…歌は子らを想う歌や貧窮問答歌など人生・社会を詠じた切実なもの。

□[29. 山部赤人]…宮廷歌人。行幸供奉の作が多く、優美な自然を詠んだ代表的自然詩人。

□[30. 大伴旅人]…万葉集の歌は上品で自在、仙境に遊ぶ歌など、風流を弄ぶ作もある。

▶第4期：淳仁天皇に至るまでの時代

□[31. 大伴家持]…万葉歌人中479首の最多数の歌を残し、編者の一人に擬せられる。幽寂な歌風。

□[32. 大伴坂上郎女]…機知に富んだ贈答歌に特徴がある女流歌人。

#### (5)教育 ※教育機関は、官吏養成のため。

##### ①[33. 大学]…中央に設置。主な入学者は貴族の子弟や朝廷に文筆で仕えてきた人々の子弟。

・[34. 明経道]：五経(易経、尚書、詩経、春秋、礼記)などの儒教の教典を学ぶ。

・[35. 明法道]：律令などの経典を学ぶ。

・音道、書道、算道：それぞれ漢字の中国音、書、算術を学ぶ。

・[36. 紀伝道]：漢文学、中国史を学ぶ。

・陰陽、暦、天文、医などの諸学が各官司で教授された。

##### ②[37. 国学]…地方に設置。主な入学者は郡司の子弟。

☆学生は大学を終了し、さらに試験に合格してようやく官人となることができた。